

新刊発売!!

オールカラー

発行:サンパティック・カフェ

定価:本体1,700円 + 税

ブラジル

天使が舞い降りる村の カノア保育園



21歳女性保育士、
ブラジルの貧しい漁村に
ひとり飛び込み保育園を作る!

鈴木 真由美 著

ブラジル北東部、世界的観光地のカノア・ケブラーダ
に隣接する貧しい漁村エステーヴァン村。
麻薬と売春の渦巻く環境の中で暮らす子どもたち。
親たちから託された願い。
それは“村に保育園を作る”ことだった。

「子どもたちに、これからの社会で
生きていけるだけの力を」



エヴァさんと子どもたち

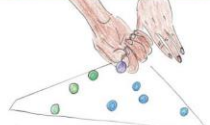


サンパウロのファベラ（スラム街）の保育園を経てエステーヴァン村にやってきた著者。
親たちの願いを受け村人たちと共に保育園作りに奮闘し、村が「未来に夢を持てるようになった」
と言えるまでの道のり 20 年を、子どもたちのエピソードとフルカラー写真で鮮やかに描く。



鈴木 真由美 (すずき まゆみ)

1977年神奈川県横浜市生まれ。保育士。ブラジル・カノア保育園 園長。
2000年にブラジル北東部の小さな漁村エステーヴァン村にカノア保育園を作り、運営を始める。
2006年にカノアでの支援を目的にした「光の子どもたちの会」を設立(2015年にNPO法人化)、
代表となる。子どもの権利条約の委員としても、現地の地域力向上を目指して活動中。
ブラジルと日本を行き来しながら生活している。2児の母。



エステウワン村のあるセアラ州は、赤道が近く常夏です。雨季と乾季がありますが、雨季は年に2、3か月ほど、しかも、なぜかいつも夜中から朝方にかけて降ることがほとんどです。そのため、日中に雨が降ると、子どもたちは大喜び、外に飛び出して遊び始めます。「今日はシャワーを浴びなくてもいいわ!」と、家から石鹸を持ってきて洗い出す子どももいます。大人たちはそんな子どもたちの姿を見ながら、「今日は何ぞできないからゆっくりしようか」とばかりに、ハンモックに揺られて寝てしまいます。…… (本文『雨と子ども』より)

貴店名		商品名等		ご注文数
		ブラジル 天使が舞い降りる村のカノア保育園 ~21歳女性保育士、ブラジルの貧しい漁村にひとり飛び込み保育園を作る! 定価: 本体1,700円+税		冊
送り先	住所 〒			
お名前	TEL	-	-	Eメール
	FAX	-	-	



(株)サンパティック・カフェ
 〒359-0042 埼玉県所沢市並木 7-1-13-102

E-mail : sympa.cafe@gmail.com
 TEL:04-2937-6660 FAX:04-2937-6661